

種名	<p><u>コヨシキリ</u></p> <p><u>Acrocephalus bistrigiceps</u></p> 													
分類	スズメ目ヒタキ科ウグイス亜科													
特徴	<p>背の高い草の上で気ぜわしくさえずる、草原の小さな鳥。日本には夏鳥として渡来し、北海道、本州、九州で繁殖する。茨城県、新潟県以南では山地の草原や大きな川の川原に局地的に見られるだけである。九州の阿蘇高原で繁殖することは1972年に初めて記録された。国外ではウスリーから中国東北部で繁殖する。</p>													
生活	<p>コヨシキリはオオヨシキリのようにヨシ原で見られることもある一方、乾いた草原にも多い。本州のヨシ原ではオオヨシキリが優性で、コヨシキリはそのへりに見られるが北海道ではその関係が逆転しているという。本州の高原では、草丈の高い所を好み、ススキの生えている所に多く見られているという。低木の枝や草の茎に、イネ科植物の茎や葉などでコップ形の巣を作る。産卵期は6~8月。</p>													
声	<p>繁殖地では低木の枝先や草の茎の上にとまってさえずる。「ピッピッピッ、ピィピィ、ジジ」など金属的な高い細かな声を組み合わせてさえずる。オオヨシキリよりはるかに美声である。地鳴きは「ジュジュ」とか「ジジ」という声である。</p>													
見分け方	<p>白い眉斑の上に黒線があり、眉斑がはっきり見える。背面の縦斑と尾の先の白斑はない。</p>													
時期	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(月)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-
(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-		
その他	全長(L)13cm 翼開長(W)19cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														